

外来でゼビュディの治療を受ける患者さん・患者さんのご家族の方へ

のご案内は、新型コロナウイルス感染症（SARS-CoV-2 による感染症）の治療のために、外来でゼビュディによる治療を受ける患者さん、または治療を受ける予定のある患者さんにご家族の方等に知っておいていただきたい情報を記載しています。ご不明な点は、ゼビュディの治療を受ける医療機関・施設やお住まいの地区の保健所等にお問い合わせ下さい。

●ゼビュディについて

本剤は新型コロナウイルス感染症の症状が重くなることを防ぐための治療薬です。本剤に含まれる有効成分は「ソトロピマブ」という抗体^{*}です。ソトロピマブは体内で新型コロナウイルスに結合してヒト細胞へのウイルスの侵入を防ぎます。

※抗体：ウイルスや細菌など、特定の異物（抗原）に対して特異的に結合し、それらの異物を体内から除去するためにはたらく分子です。

●ゼビュディによる治療の対象となる患者さん

ゼビュディは、新型コロナウイルス感染症患者さん（成人および12歳以上で40kg以上の小児の患者さん）を対象とした治療薬です。重症化リスクがあり、本剤投与時に酸素投与が必要ない患者さんに使用されます。

●ゼビュディによる治療方法について

点滴による静脈内投与を30分かけて1回行います。また、治療が終わってからも、1時間程度は体調に変化がないか医師や看護師が観察を行います。

●ゼビュディの副作用について

本剤の投与により、アナフィラキシーを含む過敏症、インフュージョンリアクションが現れる可能性があります。自覚症状には下記のようなものがあります。

アナフィラキシーを含む重篤な過敏症

薬に対してからだの免疫機能が反応することで起きる急性アレルギー反応です。

自覚症状	めまい、ふらつき、汗をかく、顔面蒼白、手足が冷たくなる、息苦しい、全身のかゆみ、皮膚の赤み、じんま疹、吐き気・嘔吐など
------	---

NPJPSOTLBND210007-P2111N

